

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス はねる					公表日	2026年3月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		広いスペースがあるので、利用者がそれぞれ落ち着いて活動できる空間を整えています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3		指導員を基準配置人数以上に増やそうとしています が定着するのが難しく今後も指導員を増やすように 採用は引き続き行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	毎月1回以上のミーティングを行い、PDCAに 努めています。	新人職員や経験の浅い職員を中心に普段の会 話から振り返りができる環境をつくっていこ うと考えています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者様の貴重なご意見を全職員へ周知し励 みにして努力を続けて行っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		日々の業務に追われて個々の意見を把握する 機会が少ないが個々に改善点が見つければ発 言しやすい環境にしようと考えています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3			今後、機会があれば検討していきたいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3				全職員と意見交換ができる研修も増やしてい きたいです。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		ホームページに公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		個別は担当制のため、お子様の様子を職員全 体で共有しながら会議を行い計画書を整えて います。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		活動について職員全体で案を出し合いながら 意見が偏らないようにプログラムを立ててい ます。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		毎月お子様たちの発達や様子に合わせて新し い活動を取り入れてお子様たちに喜んでもら える内容を常に考えています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	個別は担当者制なので各々担当する児童の支援内容を確認することになっています。集団活動では役割を決めてチーム連携を行っています。	業務が忙しく確認できないこともありますので、各々が責任を持ちながら全体で支援していく姿勢を心がけていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	職員間で日常的に支援の様子について話をし、自然と共有し会話を重ねています。	支援終了後は、保護者様への連絡と支援内容の記載に時間がとられてなかなか話をする時間が取れないことが基本ですが、業務をしながら会話を続けて共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		各関係機関と連携が必要な時には連携する体制でいます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2	送迎時に、今日の様子や出来事などの確認を行い、支援について確認したいことは質問するなどして情報を共有することがあります。	送迎時に、指導員が同乗しないこともあり運転手のみでは細かいことまで確認ができないので、定期的に指導員からの確認を行うように徹底していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		3		まだそのような事例がありませんが、今後共有を要するようになれば連携していきたいです。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3		児童発達支援センターでの助言を受ける機会がありません。研修などはタイミングが合えば受けようと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3		交流の機会がなかなかありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			連絡帳や送迎時にお子様の様子などお伝えさせていただいています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	他の関係機関から研修の情報があれば連絡アプリで情報をお伝えしています。	事業所ではなかなかできるタイミングがありません。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		事業所ではなかなかできるタイミングがありませんが、今後機会があれば保護者同士での交流の機会を設けるイベントなどを企画していきたいです。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		ホームページのブログ、Instagramなどで日々の活動の様子を発信しています。連絡アプリでも支援の様子や連絡体制を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		交流の機会がなかなかありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		初回面談時に保護者様から聞き取りを行っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		食事提供はありませんが、おやつについては初回面談時に保護者様から聞き取りを行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		毎日の業務日誌に少しでもヒヤリとしたことは記入し職員全体で共有して再発防止に取り組んでいます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			